



中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>

# この冬も 省エネ・節電 にご協力ください

昨年(2011年)の東日本大震災後の節電対策では、夜間・休日操業やエレベータの停止など負担の大きな取り組みをお願いしましたが、今夏は照明照度の見直しやLED化、室温管理の適正化など無理のない範囲での取り組みを実施していただきました。多くのご家庭や事業者において節電や省エネ活動に取り組んでいただいた結果、東京電力管内における最大電力は5,078万kWで、東日本大震災前の平成22年の最大電力5,999万kWと比較して、約15%削減することができました。

## 冬の電力使用状況について

電力需要の大きさは季節や気温などによって変わりますが、1年の中で夏の次に電力需要が大きくなるのが冬です。1日のうち、夏のピーク時間帯は午後2～3時頃ですが、冬のピーク時間帯は経済活動と家庭での電力使用が重なる午後5～7時頃です。また、冬の電力使用の特徴として、家庭は夕方から夜にかけて大きくなり、電気による暖房を使用する事業所は、午前中が大きくなります。

## 冬も節電が必要です

この冬の東京電力管内の電力需給見通しは、夏と比較すると電力需給がひっ迫するような状況ではありませんが、今後も電力の供給力が不安定であることになり、また、他の地域への電力融通や発電所のトラブルなど万が一の事態を考えると、夏同様に冬も省エネ・節電の取り組みは必要です。

エネルギー全般の使い方を見直して、電力の安定供給、環境負荷低減のために、冬の省エネ・節電対策を参考に、ライフスタイルに合わせて「無理なく賢い」省エネ・節電にご協力ください。



## 冬の省エネ・節電対策

- 暖房時にカーテンやブラインドを閉める
- 室温を低めにし、こたつや電気カーペットなど効率のよい部分暖房を活用する
- 暖房時に部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくする
- 暖房の温度設定を控えめ(目安は20℃)にする
- 重ね着などによりあたたかくする
- パソコンその他OA機器の省エネモード設定を行う
- 使用していない家電製品の電源プラグはコンセントから抜く
- 電気ポットや炊飯ジャーの保温をやめる
- 食器洗いでお湯を出しっぱなしにしない
- 保温便座の温度設定を下げ、使わないときには保温便座のふたを閉める

(全国地球温暖化防止活動推進センター、東京都環境局より抜粋)

## 中央エコアクトで地球温暖化防止にチャレンジ!

区では、無理なく省エネ・節電に取り組むことができる中央エコアクト(中央区版二酸化炭素排出抑制システム)を実施しています。

中央エコアクトの取り組みにより、電気料金などの光熱費が下がるだけでなく、日常生活から出るCO<sub>2</sub>が少なくなり、地球温暖化防止につながります。この冬の節電の取り組みと合わせて中央エコアクトにもチャレンジしてみませんか。

【申込先】環境土木部環境政策課温暖化対策推進係 ☎03(3546)5406

## 冬はインフルエンザの流行にも注意が必要です。

- ・暖房の我慢のしすぎは風邪のもとです。
- ・帰宅時には手洗い、うがいをしましょう。

# 公園・花壇ボランティア 緑のアダプト制度

取り組みを通じて、  
地域が見えてきました。

## アステラスビジネス サービス株式会社



加藤さん

中央区では、平成元年4月に「花の都中央区宣言」を制定し、花や緑でつつまれた美しいまち・清潔なまちの実現に力を注いできました。また、緑のボランティア活動に参加しやすい仕組みづくりを推進し、花のあるまちづくりを行うため、平成22年3月に「緑のアダプト制度」を創設し、区民や事業者などの方々と中央区との緑のパートナーシップを築いてきました。

「緑のアダプト制度」とは、区内在住、在勤者を対象として、公園内や「花咲く街角」などの花壇で草花の植え付けなど、管理のお手伝いをしていただく制度です。

アステラス製薬ではグループ全体で、この「緑のアダプト制度」に参加しています。今回は活動の事務局を担当しているアステラスビジネスサービス株式会社を訪問しました。

社会貢献のひとつとして  
中央区に相談したことが  
きっかけに

同社は、アステラス製薬が

「緑のアダプト制度」に取り組んでよかったことは、同じアステラス製薬グループ内であっても普段は顔を合わせることのない人たちとの交流が深まったこと。そして、そんな人たちの土いじり。また、公園で休んでいる人や住民の人たちから「いつもありがとう。」とか、植え替えのときにそれまで咲いていた「花をいただけませんか。」などと声をかけられることも多く、地域との結びつきを感じることもしばしばだそうです。

取り組みを通じて  
地域の姿が見えてきた

「会社勤めの人ばかりのオフィス街だと思っていたのですが、住民が多いことに驚きました。この公園がそういう人たちの憩いの場になっているんだと思うと張り合いが出てきますね。」

みんなで試行錯誤しながらの活動。花の名前を覚えたり、通りすがりの花壇が気になったりもしているそうですが、何よりの収穫は、取り組みを通じて地域が見えてきたこと。

「活動を通じて地域の皆さんとの相互理解が深まればうれいですね。」と、夢を語っていただきました。



【問合せ先】水とみどりの課緑化推進係 ☎03(3546)5434

# 中央エコアクト

## 認証事業所・第13号

### 株式会社 ギンザコア

#### ビル全体で取り組んだ結果、想像以上の省エネ・コスト削減を実現



左から大内部長・長口次長

#### 中央区のアドバイスで認証取得への弾み

株式会社ギンザコア(以下ギンザコア)は、老舗のファッションビル「銀座コアビル」の管理・運営会社。地下2階、地上10階に、現在78のテナントが入っています。中央エコアクト(中央区版二酸化炭素排出抑制システム)に参加したのは3年前。そのきっかけは、事業所用自然エネルギー及び省エネルギー機器等導入



LED照明+間接照明削減

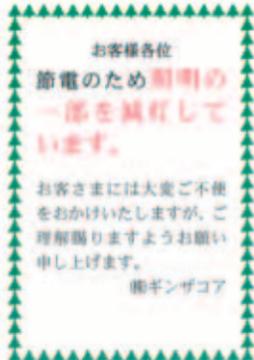
「最近のLEDは明るいので、間引きしても暗いと感じることはありません。お客様相手のテナントさんの理解を得るのは大変でしたが、導入後は好意的な意見が寄せられます。」と長口次郎管理部長。

「お金のかからない省エネをビル全体で取り組んでいきたい」

費用のパンフレットでした。管理部の大内正造部長は「中央エコアクトの認証を受ければ省エネ機器導入費用の上乗せ助成があることが分かりました。しかし、東京都の条例で削減義務を課されるほどのエネルギー使用量の大きな事務所なので認証を取得できるかどうか不安でしたが、ダメでもともとという気持ちで説明会に参加してみたいです。」

10月現在、約80%のLED化が実現され、テナントへも広がりつつあります。共用通路のLED化した部分の年間電気使用量は取り組み前の約18万8千kWhに対して、取り組み後は約3万9千kWhと、わずか5分の1に激減。約208万円の電気料金削減を達成することができました。

「省エネナビ」は、省エネの目安が分かる省エネナビを使い始めてから1カ月ほどでしたが、エコについて考えさせられることが広がったといえます。例えば、炊いたご飯を冷凍し、食事のときに解凍する方法は、炊飯器やジャーでご飯を保温するのとどっちが省エネだろうか。お風呂のお湯をポンプで洗濯機に送る電気代と、水をそのまま洗濯機に入れる水道代とどっちが得か。さらには、電気とガスとではどっちが二酸化炭素排出量が少ないか、など。



く、空調機のメンテナンス、空調温度の設定変更、早期退出などのさまざまな「お願い」を、テナントを集めた年2回の会議で行っています。また、テナントには省エネに関する詳細なアンケートを行い、どのような取り組みが実施されているかを把握しています。協力が必要と思われるテナントには赴いて依頼し、具体的な電気使用量を示して改善策のアドバイスをしています。



駐車場必要最低限点灯時



駐車場照明点灯時

### 中央エコアクト 参加家庭・事業所募集中

【問合せ先】環境政策課温暖化対策推進係 ☎03(3546)5406  
ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp/kurasi/kankyo/taisaku/eco/index.html>

## 省エネナビで再発見 楽しみながらできる省エネ

家庭で使う電気使用量や二酸化炭素排出量が分かる省エネナビを使い、中央エコアクト認証取得を目指すSさん。省エネナビの使い勝手や、省エネに対する想いを語っていただきました。

#### 真つ暗な中での食事はちょっとやり過ぎでした

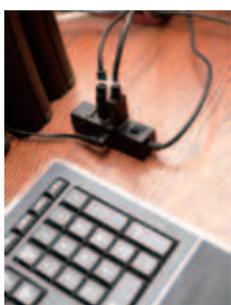
「去年、東日本大震災があったので、そのあとに電気料金の値上げが懸念されましたよね。それが心配なこともあって中央エコアクト(中央区版二酸化炭素排出抑制システム)に参加しようと思いました。」



省エネナビ

#### 電子レンジにびっくり! 「見える化」は大成功

取材時はSさんが省エネナビを使い始めてから1カ月ほどでしたが、エコについて考えさせられることが広がったといえます。例えば、炊いたご飯を冷凍し、食事のときに解凍する方法は、炊飯器やジャーでご飯を保温するのとどっちが省エネだろうか。お風呂のお湯をポンプで洗濯機に送る電気代と、水をそのまま洗濯機に入れる水道代とどっちが得か。さらには、電気とガスとではどっちが二酸化炭素排出量が少ないか、など。



スイッチ付きUSBハブ

省エネナビが届いたのは8月。電気器具を使うたびにメーターが跳ね上がるのを見て、それまで以上の省エネにチャレンジしました。そんなある日「気がついたら真つ暗な中で食事をしていました。以前からムダのないように暮らしてはいたのですが、省エネナビでムダが見えるようになり、知らないうちにやり過ぎってしまったようです(笑)。」

「省エネナビで分かったことは、うちでは電子レンジの電気使用量もとても大きいことでした。レンジを使うとメーターがピンと跳ね上がるんです。あれにはビックリとしますね(笑)。今では、レンジに頼っていた煮炊きをガスに代えました。」



環境検定

「広い視野で省エネを考えるよいきっかけに」

# 「中央区の森」

## 森林保全区域を拡大しました

「中央区の森」(数馬地区)  
平成18年から開始

平成18年10月から東京都多摩郡檜原村数馬地区で始めた「中央区の森」事業は、地球温暖化対策として、行政エリアにとらわれない広域的な視点に立ち、森林保全活動の支援を行ってきました。

平成23年3月、森林保全活動を推進するとともに、中央区と檜原村との交流を深めつつ、区民の方が豊かな自然に触れる機会を増やすため、「中央区の森」環境ふれあい村構想」を策定しました。今後、森林保全支援、木材資源の利活用、地域の自然・文化などの体験と交流促進という3つの方策を柱に、推進方策を進めていきます。

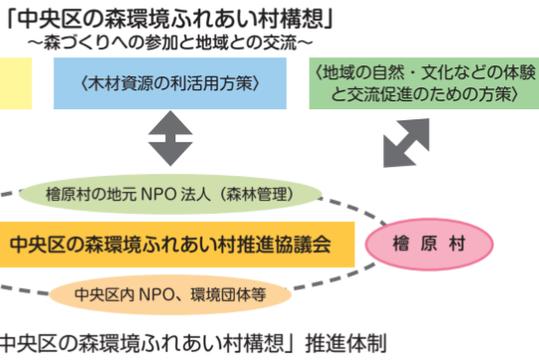


▲作業道を整備中

や企業の方々の参加による森づくりを実施していきます。

「中央区の森」(数馬地区)のマップを作っています!

「中央区の森」の豊かな自然や魅力を多くの方々に楽しんでもいただくために、ただ今、推進協議会に検討部会をつくり、数馬地区のマップを製作中です。春になったら、南郷地区の植樹ツアー、または数馬地区のマップ片手に森探検、あなたも「中央区の森」に行ってみませんか。



▲「中央区の森環境ふれあい村構想」推進体制

### 新たに「中央区の森」(南郷地区)をスタート!!

今年4月、「中央区の森」数馬地区に加え、新たに同村内の南郷地区(村有林)約4.9haにおいて森林保全活動を開始しました。

南郷地区では、人工林(針葉樹)を約8割伐採してコナラ、ヤマザクラ、モミジなどの広葉樹を植樹することにより、自然豊かな森に還元していく計画です。初年度となる今年、森林保全活動に必要な作業道を400m整備しました。今後、人工林の伐採を進めるとともに、伐採した木材は、区の施設や公共土木材などに活用していきます。

伐採後の苗木植樹の際は、植樹ツアーを企画するなど、区民



【問合せ先】

水とみどりの課環境活動係  
03(3546)5654

## 子どもとためす環境まつりを開催しました

10月20日(土)、日本橋小中学校で「第9回子どもとためす環境まつり」が開催されました。

この催しは、中央区の次代を担う子どもたちに、環境について楽しく体験学習できる場を提供したいとの趣旨で、中央区環境保全ネットワークが毎年主催しているものです。



イベントに参加した企業・団体は全部で36。メインフロアの3階体育館では、「中央区の森 間伐材でやじるべづくり」を始め、「木の葉やドングリで遊ぼう」「オリジナルエコキーホルダー・自分だけの宝物を作ろう」「冷蔵庫ゲームと紙粘土細工」などのクラフトコーナーが大盛況。区内の7つの小学校からは「名所江戸百景」「考えよう環境問題」などのパネル展示が発表されていました。

4階では「ガス管を使って万華鏡を作ってみよう!」「さかなのアラ、捨てればただのごみ 活かせば資源」といった親子で楽しめるブースが並びました。

また、校庭では究極のエコカー・人力車に乗ってもらい、省エネへの意識づけと同時に下町風情を楽しんでいただきました。

会場は、スタンプラリーマップを手にした子どもたちや家族連れで終日賑わいました。特に子どもたちは、各ブースを巡りながらスタッフの説明やゲームを通じて、環境保全の大切さやエコの意義を身近なものとして感じたのではないのでしょうか。



## 「中央区の森」の間伐材を使っています

中央区では、檜原村「中央区の森」の間伐材の有効活用を行っています。

その一つとして、間伐材を区内の公園のベンチに使用しています。現在、間伐材を使用したベンチを公園に27基設置しており、今後も年に10基程度増やしていく予定です。

また、間伐材を街路樹の支柱にも使用しています。支柱とは、街路樹が倒れないために支えるためのものです。年間約100組分の支柱になる間伐材を使用しています。さらに、歩道にある植込み地(植樹帯)に人が入らないために設置するロープ柵のくいにも

間伐材を使用しています。この間伐材による支柱・ロープ柵のおかげで、街路樹が強風で倒れたり、人によって踏み荒らされたりするのを防ぐことができ、中央区の緑は守られています。

憩いの場づくりや緑を大切に育てるために、これからも「中央区の森」の間伐材を積極的に活用していきます。



▲街路樹の支柱



▲佃公園のベンチ



▲植込み地のロープ柵

【問合せ先】

ベンチについては  
環境土木部水とみどりの課公園河川係  
☎ 03(3546)5435  
支柱・ロープ柵については  
環境土木部水とみどりの課道路緑化施設係  
☎ 03(3546)5437

## 初! 月島第二児童公園フリーマーケットを開催しました

【問合せ先】  
水とみどりの課環境活動係  
03(3546)9595

私たちがとって既に耳慣れた言葉となった「3R(リデュース・ごみの発生抑制・リユースへ再資源化)」。そのうち、「リユース」の代表的な取り組みが「フリーマーケット」です。区は、9月29日(土)、月島第二児童公園でフリーマーケットを開催しました。台風17号・18号が接近し、前日まではとても不安定な天気でしたが、当日は嘘のように快晴となり、終日、家族連れなどでにぎわいました。会場には85の店舗が並び、衣類、アクセサリー、雑貨、ぬいぐるみ、おもちゃなど、様々な商品が販売されました。子ども

が多い地域ということだけあり、子ども服やおもちゃなどの子育て関連グッズが多く販売されていたのが印象的でした。

また、粗大ごみの中からまだ使えるものを修理し、無料で提供する「ごみの中からこんなもの展」も大人気で、抽選の時間には人だかりができるほどでした。

フリーマーケットを通じて、ご来店いただいた方にもご来場いただいた方にも、楽しみながら「リユース」していただけたと思います。今年度はもう開催する予定はありませんが、今後、開催する際には区のおしらせなどお知らせしていきます。

また、区は、フリーマーケット以外にも、環境にやさしく、楽しく参加できるイベントをたくさん行っていますので、ぜひ色々なイベントに参加してみてください。

# 環境作品コンクール

## 入賞者のお知らせ

中央区では、区内小・中学校の児童・生徒の皆さんに、環境について関心を深めてもらうことを目的に「環境作品コンクール」を実施しています。今年度は、ポスター千二百二十八点、標語千二百四十七点の応募がありました。

審査の結果、次の方が入賞しました。おめでとうございます。

なお、これらの作品は、区内施設での展示のほか、環境力レシターや環境月間ポスターなどに活用していきます。

- 入賞者(敬称略)
- 標語部門
- 最優秀作品(2名)
- 優秀作品(8名)
- ポスター部門
- 最優秀作品(2名)
- 優秀作品(5名)



豊海小2年生 内山 知理  
京橋築地小3年生 大内 莉子  
最優秀作品 佃島小5年生 垂水 詩子  
最優秀作品 日本橋中3年生 川田 詩恵奈  
最優秀作品 日本橋中2年生 佐藤 仁瑛  
最優秀作品 日本橋中2年生 佐藤 仁瑛  
最優秀作品 日本橋中2年生 佐藤 仁瑛



【問合せ先】水とみどりの課環境活動係 ☎ 03(3546)9592

## 布類の資源回収にご協力をお願いします

中央区では毎週土曜日に小学校で実施している拠点回収や回収箱により布類を回収しています。回収した布類はウエス(工業用雑巾)などにリサイクルされています。限りある資源を有効に活用するため、布類の回収にご協力をお願いします。

【注意事項】  
回収対象は家庭からでたものに限りです。事業所からでたものは持ち込まないでください。

【問合せ先】  
中央清掃事務所清掃事業係 ☎ 03(3562)1523

—小学校等の拠点回収—

京橋地域	日本橋地域	月島地域
毎週土曜日 午前9時30分～ 11時30分	毎週土曜日 午前9時～11時	毎週土曜日 午前10時～正午
城東小学校 泰明小学校 中央小学校 明石小学校 京橋築地小学校 ※明正小学校 銀座中学校	常盤小学校 日本橋小学校 有馬小学校 久松小学校 阪本小学校 日本橋中学校	佃島小学校 月島第一小学校 月島第二小学校 月島第三小学校 豊海小学校

※改築工事のため、越前堀児童公園で実施しています。

◎回収品目  
牛乳パック・食品用トレイ・布類・廃食用油・蛍光管・乾電池(同時に園芸用土の回収も行っています)

☆ほっとプラザはるみでも布類の回収を行っています。  
回収日時 毎週土曜日午前10時～正午  
回収品目 布類

—回収対象品目等—

○回収できるもの	×回収できないもの
●衣類・下着・シャツなど セーター・ジーンズ・ シャツ・コート・ 子供服・背広・ 靴下・ネクタイ・ スカート・着物・ 帯・タオルなど	●布団・毛布・ 座布団・じゅうたん 粗大ごみへ ●皮革製品(合成皮革製品も含む)・ 綿入り衣類・裁断した布・ よごれがひどいもの 燃やすごみへ

—布類の回収箱設置場所—

施設名	住所
リサイクルハウスかざぐるま明石町	明石町 14-1
リサイクルハウスかざぐるま箱崎町	日本橋箱崎町 36-15

※開館時間内に回収しています。

## 環境の分野でご活躍されている方々に感謝状を贈呈

日頃から地域での資源回収や清掃活動にご尽力いただいている方及び団体、並びに事業系一般廃棄物の再利用等に積極的に取り組んでいる区内の事業所に対して、12月12日(水)に感謝状を贈呈します。

贈呈式の後には「地球目線で未来をデザインする」と題して、京都造形芸術大学教授であり、「東日本大震災復興構想会議」検討部会の専門委員を務められた竹村真一氏による環境講演会を開催します。

受賞される方及び団体は以下のとおりです。(敬称略)

- ①リサイクル活動団体(3団体)
  - ・新川二丁目越二町会
  - ・人形町三丁目西町会 芳青会
  - ・晴海四丁目住宅自治会
- ②地域クリーン活動団体(2団体)
  - ・銀座五丁目連合町会
  - ・茅場町二・三丁目町会
- ③地域クリーン活動ボランティア(4人)
  - ・松本 廣子
  - ・田中 久代
  - ・川田 貴子
  - ・園田 十三江
- ④事業用大規模建築物所有者等(2事業者)
  - ・明治ホールディングス株式会社
  - ・丸國不動産株式会社

【問合せ先】  
①④中央清掃事務所清掃事業係 ☎ 03(3562)1523  
②③道路課工務係 ☎ 03(3546)5403  
環境講演会 水とみどりの課環境活動係 ☎ 03(3546)9595

## 「もったいない」で生ごみ減量!

中央区の家庭から出る燃やすごみの約40%を生ごみが占めています。

生ごみには多くの水分が含まれており、野菜の皮を三角コーナーなどに入れることで、さらに多くの水分を含んでしまいます。この水分が臭いの発生源になるとともに、ごみの重量が増える原因にもなっています。また、水分の多い生ごみが清掃工場の焼却炉に投入されると、焼却効率も低下します。

そこで、生ごみの「ひとしぼり」!

皆さんの家庭で1日1回、生ごみを20ℓしぼると、年間約540ℓの生ごみを減らすことができます。

家庭で簡単にできるごみ減量の取り組みです。皆さまのご協力をお願いします。

問合せ先  
中央清掃事務所作業係  
☎(3562)1521

生ごみの減量にはこんな工夫も

- 食材は買すぎない
- 買った食材は使い切る
- 料理の作りすぎには気を付ける
- 果物や野菜の皮は水に濡らさない